

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	タクシー運転手	販売量の動き	・台風や連日の暑さの影響で、客が増加している。
	やや良く なっている	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・家族連れ客が多く、紳士靴がよく売れている。
		スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・天候も順調で、飲料が好調に売れ始めている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・気温の上昇につれて、ビール、ジュースの売上が良くなっている。中元も、単価は低下したが新規開拓に成功し、件数は伸びている。 ・居酒屋等外食産業への業務用卸は、飲酒運転の罰則強化後厳しくなっている。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・新車の投入もあり、来客数は増加している。販売台数も持ち直してきている。
変わらない		商店街（代表者）	来客数の動き	・若年層を中心とした自動車利用客は増えているが、徒歩の年輩客は減少している。
		商店街（代表者）	単価の動き	・客単価は低値で安定しており、来客数も変わらない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・エアコンがあまり売れない。
		商店街（代表者）	競争相手の様子	・スーパーとの競争に勝てない。
		一般小売店〔電気屋〕（経営者）	単価の動き	・売上に変化はない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・客単価はやや減少してはいるが、売上は横ばいである。消費者は安く長持ちする商品を探している。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・客は必要な物しか買わず、販売量が増加してこない。 ・7月初めからバーゲンを実施し、早く客をつかむ動きがみられるが、どこもうまくいっていない。
		一般小売店〔果物〕（店員）	販売量の動き	・ここ数年あまり動きがない。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・中元、クリアランスともに、注文や販売量が前年より悪くなっている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・バーゲンの出足は好調だったが、月の後半はなかなか売れず、買控えの傾向がみられる。
		スーパー（経営者）	競争相手の様子	・大手スーパーの開店や改装が続き一時期客も動きが激しかったが、最近に行く店が定まり落ち着きが出てきている。 ・特売に走る傾向も止まり、売上に変動がなくなっている。
		スーパー（経営者）	競争相手の様子	・チラシ商品の買い回りと、特売商品の買上が多い。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・台風が週毎に来たため、来客数が一時的に減少している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は前年比、前月比ともほぼ100%だが、買い上げ点数、平均単価が低下したままである。消費者は低価格慣れし、いつでもどこでも安い特売商品にも飛びつかなくなり、適量を求める傾向が顕著である。 ・中元は出足は好調であったが、前倒しの傾向が進んでいる。化粧箱に入ったもの等は鈍く、ビール、洗剤、しょうゆ、油等のケース売りが非常によく動いている。 ・中国製商品は危険というイメージができ、販売量は急減している。 ・テレビで紹介された健康、美容食品は、極端によく動くが長続きしない。
		スーパー（店員）	お客様の様子	・消費者は低価格に慣れており、季節感のある商品よりも安い商品に向かっている。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・夏は鮮魚類が売れない時期であるが、新物のサンマが入ったときなど値が高い割に動いており、悪い状況ではない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・来客数はやや減少しているが、客単価は上昇している。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・前年割れ店舗が多くなっているが、昨年は特需商品があり雨も少なかったことの反動であり、実態はあまり変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	それ以外	・来客数が減少し販売単価も低下と、全体的に落ち込んでいる。
		衣料品専門店（店員）	単価の動き	・売上は底の状態が続いている。 ・客単価は前年を下回る傾向が続いている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・エアコンの動きは良くなりつつあるが、テレビやAV機器が伸びていない。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・例年この時期は来客数が減る時期ではあるが、来客率が悪い。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量の減少と販売単価低下の両方がある。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・この悪い状態が当たり前の雰囲気になっている。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・月の中旬頃までは来客数が非常に多く、成約率も高く、高額商品やコンパクトカー等の新型車の成約率が上がったが、中旬以降は来客数が減少し、成約率や単価も低くなり、プラスマイナスゼロになっている。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・展示会での来客数は変わらない。新型車も出ているが、その影響が出ていない。
		その他専門店【貴金属】（店長）	お客様の様子	・高額商品も低価格商品も客は吟味しながら購入していき、時間がかかりすぎている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・人通りが少なく、街には活気もない。最近イベントを起こしても反応が薄く、売上が伸びてこない。
		観光型ホテル（スタッフ）	それ以外	・1泊2食付のセット型宿泊が減少し、1泊朝食付または夕食選択型が特に多くなってきている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・客の動きはほとんど変わっていない。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・受注数が少しずつ増加している。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・キャンペーンは思ったほど効果がないが、着実に伸びてはおり、悪くなっているということもない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・相変わらず不況を楯に商談が進まない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・携帯電話は新規購入のほうが買い換えよりも安いいため、解約して新規購入する人は増加しているが、契約者数は純増していない。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・来場者数は今年3月から7月まで対前年比でプラスに転じているが、土日祝日の客が減って単価の安い日に集中しており、またレストランの単価も低下していることから、手放して良くなっているとは言えない。
		パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・客単価が少しずつ上昇している。
パチンコ店（店長）	来客数の動き	・新機種導入に伴い一時的に来客数は増加しているが、まだ本格的な来客数増加ではない。		
美容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず客の回転が悪い。子供は家で髪を刈るようで、一層暇になっている。		
その他サービス【珠算塾】（経営者）	それ以外	・自営業者の子供が何人が廃業にともない退塾しており、養育費にも影響が出ている。		
設計事務所（職員）	お客様の様子	・昔ほどではないが、飲食店が店の改修をし始めている。		
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街に出てきても、見ていただけといった感じで、買物には至っていない。	
	一般小売店【土産】（経営者）	販売量の動き	・飲酒運転の罰則強化の影響で夜の街が閑散としている。	
	一般小売店【土産】（経営者）	来客数の動き	・台風の影響で旅行を前もって取りやめた人が多く、売上、来客数ともにマイナスとなっている。	
	一般小売店【酒】（経営者）	販売量の動き	・飲酒運転の罰則強化の影響で特に飲食店向け販売の減少が著しく、販売量、来客数ともに大きく減少している。 ・中元についても、対前年比80%ほどでとどまっている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・台風と猛暑で来客数が減少している。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・中元ギフトとバーゲンの二本柱がまったく不調である。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・台風や雨続きの影響もあり、水着や浴衣といった夏商材を中心に売上が伸び悩み、売上の前年伸び率はここ数か月で最低である。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・紳士服を中心に売上が低迷している。
		百貨店（外商担当）	販売量の動き	・虚礼廃止と業績悪化を理由に、中元の販売量が1割程減少している。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・夏物がバーゲンになっても、客は依然として慎重である。以前のように安くなってから購入するといった感覚もなくなってきている。 ・中元も単価をかなり気にしているようである。
		スーパー（店員）	単価の動き	・商品の動きをみていると、かなり買い控えしていると感じる。 ・競合店の出店もあり、売上、来客数ともかなり落ち込んでいる。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・飲酒運転の罰則強化により、飲食店向けの売上が非常に悪い。 ・酒類の卸問屋によると、郡部で飲食店を中心に納品している酒屋の売上が、前年の半分近くにまで落ち込んでいる。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上が対前年比で約93%と大幅に減っており、客の購買意欲も横ばい状態である。
		家電量販店（従業員）	販売量の動き	・生活必需品は売れるが、ぜいたく品の販売が滞っている。
		乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・月の中旬までは堅調な動きで、価格帯もばらけて良かったが、下旬から低価格品に傾き、量的にも盛り上がり欠けている。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・ボーナス時期であるが、イベントへの集客数増加がほとんどみられない。
		住関連専門店（店員）	来客数の動き	・来客数がやや悪く、セールを延長して対応したが、前年比ギリギリで終わっている。
		住関連専門店（店員）	販売量の動き	・買い上げ点数、客単価が96%と、久々に対前年比でマイナスになっている。
		高級レストラン（経営者）	単価の動き	・毎年この時期はシーズンオフだが、今年は特に単価の下落が著しい。客からは値下げ要求が度々ある。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・レストランは横ばいであるが、宿泊は前年、3か月前と比べて減少している。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・来客数が減少しており、特に飲食関係はサッカーワールドカップが阻害となっている。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きがやや悪くなっている。
		旅行代理店（従業員）	単価の動き	・安い日帰りバスはそこそこ売れるが、遠距離旅行がまったく伸び悩んでいる。
		タクシー運転手	来客数の動き	・サッカーワールドカップで来客数が減少したままの状態が続いている。 ・飲食店街で働く人の帰りが早い。
		タクシー運転手	お客様の様子	・サッカーワールドカップが終わって客が増えると思ったが、飲酒運転の取り締まりが厳しくなり、夜の客が減少している。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・雨の影響が大きく9割くらいの来客数しかないため、7月は大きくマイナスである。
		ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・梅雨、台風の影響で来客数が減り、売上も減っている。
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・景気が悪くなるような雰囲気があり、客の周期がさらに延びてきている。
		美容室（経営者）	それ以外	・急に暑くなったため客が外出を敬遠し、客足が遠のいている。
		美容室（経営者）	競争相手の様子	・美容室が増加しており、どの店も割引競争に入っていて、良い状況ではない。
		その他サービス〔パチンコ機器製造販売〕（エリア担当）	販売量の動き	・サッカーワールドカップ時の台の入れ替え自粛が尾を引いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		設計事務所（経営者）	販売量の動き	・仕事が決まっても実施に移されるまでの時間が延びてきており、一つの仕事に時間がかかりすぎている。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・アパート入居を募集する会社への来客数が減少している。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	販売量の動き	・まとまった仕事はいくらかあるが、小さな仕事が減っているため、全体として販売量は伸びていない。
	悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・飲食関係の動きが特に悪い。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・服飾雑貨、ヤング層の婦人服は健闘しているが、高齢層の婦人服、紳士服、靴、ハンドバックが極端に不振である。消費者の購買力のなさが目立ってきている。 ・中元ギフトも不振である。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・天候の影響もあるが、売上の対前年比の平均値を取ると、3か月前は100%弱であったが、今月は90%を割りそうである。来客数の減少よりも、客単価の激しい下落がみられる。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・前年割れの幅が広がってきている。来客数、客単価ともに低下しており、店でどんな仕掛けを打っても効果がない。完全に無駄な物は買わない流れになっている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・前年に比べ低温だったせいもあるが、20日以前は来客数の落ち込みが激しく、飲料の売上減少も著しい。 ・中元商品も前年を大きく下回っている。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・暑い日が続き、飲料はたくさん売れているが、単価は対前年比で8%も下回っている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・新メニューの投入、各種イベントやフェアの開催に対する顧客の反応が非常に弱い。低価格メニューを導入しても、価格低下をカバーするだけの集客ができない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップ後に期待していたが、まったく動きがない。
		バー（経営者）	単価の動き	・ボーナスの減少で客単価が大幅に低下している。通常3杯を2杯に抑えるといった傾向である。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・販売量は過去にないぐらいの落ち込みで、営業努力、企業努力の域を越えており、手の打ちようがない。直前の受注を期待するぐらいで、なんとも計画性のない状況である。
		住宅販売会社（企画担当）	お客様の様子	・分譲住宅の契約商談では価格交渉が厳しく、計画利益が確保しにくい。
		住宅販売会社（業務担当）	お客様の様子	・商品のまとめ買いが以前のようにない。
企業動向関連	良くなっている やや良くなっている	-	-	-
		金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・生産量が増加に転じているものがある。
		電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新商品の企画に対して、以前は見積もりを出してもまったく反応がなかったが、最近は一歩進んで試作品の依頼が入るようになってきている。
		輸送用機械器具製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・受注量は増加しつつあるが単価は依然として厳しく、採算確保に苦労している。
		建設業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・相変わらず新規の大型工事物件情報は少ないが、中型工事物件情報が少しずつ出始めてきている。ただし、全般的には一つ一つの工事規模が依然小さく、受注量も少ないままである。
		建設業（総務担当）	それ以外	・注文が入って動き出しているところもあるし、準備や整理に入っているところもある。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・季節変動もあるが、貨物量は比較的好調で、客の荷動きも活発である。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折込広告は対前年比でプラスとなり、希望がもてる状態になっている。 ・メール便の宅配が軌道に乗り、日毎に増えている。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏場の暑さの影響もあるが、販売量にむらがある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注単価が相変わらず引き下げられている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量は依然として落ち込んでいる。
		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量ともに大きく低迷を続けている。さらに、地元の大手土木建築企業の倒産もあり、全体的に沈滞気配である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上額が対前年比マイナスの状態から完全に脱することが出来ない。特に今月は、国内販売、輸出とも不振である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここ数か月、受注量、販売量は完全に横ばい状態が続いている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注が増えてきている。
		輸送用機械器具製造業（工務担当）	受注量や販売量の動き	・国内市場は良くないが、海外市場に助けられている。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・民間の特に物流に関わる設備投資の受注が少し増加してきている。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・自営業者の資金状況は相変わらず厳しく、良くなる見込みがない。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・取引先からの依頼は多少増えはじめてはいるが、量的にはあまり変わらない。
		税理士	取引先の様子	・製造業では受注量がなかなか増加せず、建設業では仕事があっても単価が安く、採算に合わない仕事が多い。
		税理士	取引先の様子	・取引先企業では、金券やサービス券を客に渡しているが、客は価格よりも質で選んでおり、客離れがみられる。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き	・IT投資は上向きと下向きが半々である。
		その他サービス業〔社会労務士〕（経営者）	取引先の様子	・例年昇給を行っている企業が昇給を見合わせている。
	やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・価格を下げないと売れない状況が続いている。
		化学工業（企画担当）	取引先の様子	・特に米国への輸出が、円高と米国景気の失速により、大幅に減少している。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・受注が低迷している。
		非鉄金属製造業（社員）	受注価格や販売価格の動き	・仕事の進行中や完了後でも、値引きを要請されるケースが増えている。商慣行さえも崩れつつある。
		一般機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・地元の大手土木建築企業が倒産した影響で連鎖倒産も起き、取引している地銀にも大きな影響があり、融資担当の貸出態度が一段と厳しくなっている。
		一般機械器具製造業（販売担当）	取引先の様子	・先月までは引き合い件数が多かったが、今月に入り客先の設備導入計画がすべて延期されている。
		電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・5月の国際アパレルマシンショーの商談顧客対応が一巡したが、実需に結びついていない。
		輸送業（エリア担当）	取引先の様子	・工業製品や化学製品等の原材料を作っている客先で荷動きがなく、製品の川上で動きが止まっている。
		輸送業（エリア担当）	取引先の様子	・3か月前の値引件数は8件で値引金額は18万円、値引率は2.7%であったが、現在は13件で値引金額は61万円、値引率は3.1%と、ともに増えている。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・地元の大手企業の倒産が続き、痛手を被っている企業が多い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		公認会計士	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> 金融機関の貸出姿勢が変わらないため、資金繰りが厳しい中小企業が増加している。 飲酒運転の罰則強化の影響で、飲食店の売上が激減している。 IT産業の業績回復が遅れ、下請け企業の回復も遅れている。
	悪くなっている	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・悪天候の影響が出ている。
		広告代理店（従業員）	競争相手の様子	・値下げ競争が止まらない。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	アウトソーシング企業（エリア担当）	求人数の動き	・好調な輸出に支えられ、稼働率が向上している。求人数も対前年比で20～30%増加しているが、それでも人手を確保できていない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・7月の求人広告の申込は対前年同月比で77%だが、3か月前よりは約7ポイントのプラスになっている。
		民間職業紹介機関（エリア担当）	求人数の動き	・求人数は、3か月前と比べてわずかながら上向いてきている。特に、中堅、中小企業の求人がやや活性化しつつある。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・4月から7月末までの求人件数が対前年比で6%ほど増えており、さらに卸売業や小売業でも求人意欲が増している。
	変わらない	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・取引先の求人が伸びてこない。
		人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・各企業とも最低限の派遣社員は必要としており、派遣社員の需要は横ばい傾向である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・6月は求人広告が対前年比で35%程度落ち込んだのに対して、7月はパート、アルバイトや業務請負が79.5%、正社員が81.3%と、悪化傾向はやや緩やかになっている。
		職業安定所（所長）	求職者数の動き	・新規求職者数は、対前年比で相変わらず増加を続けている。
		職業安定所（管理部門担当）	採用者数の動き	・紹介件数、就職件数ともに減少しており、求職者が滞留傾向にある。
職業安定所（職員）		求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 有効求人倍率は、3か月前と比べると0.1ポイント低下、前月と比べると0.01ポイント上昇している。 業種別でみると、輸送用機械は好調なもの、一般機械、電気機械、サービス、卸売、小売、飲食が悪く、全体としての求人は減少している。 	
職業安定所（職員）		求職者数の動き	・非自発的離職者は横ばいもしくは増加傾向であり、求職者数はまだまだ増加している。	
やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・前月までは横ばいか若干上乘せができていたが、今では売上が止まり、伸びがなくなっている。	
	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> 派遣料金の切り下げ要求が続いており、値下げに応じない派遣会社をやめて他社に乗り換えるという企業が目立つ。 IT関連の技術者はやや良いが、一般事務職など全体的にみると減っている。 	
	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・新規の依頼が少なく、あったとしても期間限定が多くて、長期やフルタイムの依頼はめったにない。	
悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・人材派遣を更新しない企業が増加している。また、更新しても値下げを要求され、大変厳しい状況が続いている。	
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・地元の大手土木建築会社の倒産とそれともなう連鎖倒産が、深刻な影響を与えている。	